

2007年度 学期 後期	曜日・校時 火1/火4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	日本語 (Advanced Japanese)		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室 229	
対象学生(クラス等) 留学生	科目分類 留学生用科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 永井智香子 / Eメールアドレス: nagai@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 2239 / オフィスアワー: 金曜2・3校時			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: テレビ番組のドキュメンタリーやニュース番組を使って授業を行い、日本語の運用能力の向上を目指す。 授業方法: ビデオを視聴することと、その内容に関するハンドアウトを使いながら授業を進める。また、毎授業ごとに小テストを実施する。 授業到達目標: この授業を通じて、日本語の聴く力の向上が実感できるというだけではなく、書く力の向上、語彙の増加も実感できるということを目指したい。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 基本的にはテレビ番組からとったドキュメンタリー番組やニュース番組の視聴を通じて、そこに出てくる語彙や文法を確認したり、内容について話し合ったり、内容を要約したりする練習をしながら進める。 第1回 } オリエンテーション 第2回 } 第3回 } 第4回 } 第5回 } 第6回 } 第7回 } 小テスト その日に見るビデオの関連事項について話し合う ビデオの視聴 ビデオの内容についての 第8回 } 質問に答える ハンドアウトを使っての語彙や文法の事項の確認(以上1限目) 第9回 } 第10回 } 小テスト ビデオを視聴しながら聞き取り練習を行なう ハンドアウトを使っての語彙や文法事項の確認 第11回 } (以上4限目) 第12回 } 第13回 } 第14回 } 第15回 } 通常授業			
キーワード	ビデオの視聴		
教科書・教材・参考書	ハンドアウトを準備する		
成績評価の方法・基準等	1限目の小テスト40%、4限目の小テスト30%、授業への取り組み30%		
受講要件(履修条件)	日本語能力試験1級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			